



AJ

306

vol.

AGUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine

APRIL 2021
100YEN

【特集】

アヌビアス

Anubias barteri

ENJOY DOOA
SYSTEM PALUDA 60

NATURE IN THE GLASS
雨季の細流

ADA PLANTS GALLERY #01 (新連載)
「クロッススティグマ」

NA PRODUCTS STORY #03
「POLLEN GLASS SERIES」

DOOA STYLE #09
「遠くリベリアの奥地、マノ川支流のほとりを見つめる。」

ネイチャーコラム 第9回
「Fox Watching!」

Enjoy DOOA

Naru Uchida

西アフリカの 幽々たる清流に 思いをはせる

【密林の最奥】アヌビアスの魅力を引き出せるかどうかは、時間経過の表現にすべてが集約されると考えている。西アフリカの熱帯雨林を意識したこのレイアウトは、茂る枝葉によって光が遮られた林床で力強く生きる植物の様子を再現している。自生地のイメージとしては細い流れの清流で、下流に流されないよう確実に流木や岩に活着している姿を表現した。雨季乾季による水位変動で生育環境が劇的に変化するにも関わらず、たくましく生長を続けるエネルギーを感じられるようなレイアウトを目指した。

【SYSTEM DATA】

- バルダライト 60
- システムバルダ 60 W60×D30×H45(cm)
- ミストボックス
- ミストフロー
- ミストフローキャップ
- サーキュレーションファン 40
- メタルキャビネット 60(ブラック)
- パワーコード S-70
- ホーンウッド
- 山谷石
- トロピカルリバーサンド
- 佗び草ミスト

【植物】

- 佗び草マット ウィローモス
- 佗び草マット ビーコックモス
- 佗び草マット ソラナム・エボルプリフォルム
- アヌビアス・ナナ
- アヌビアス・ナナ ブチ
- アヌビアス・グラブラ
- アヌビアス・キリン
- アヌビアスsp. ガボン

2021年1月19日 撮影(ADA)
レイアウト制作・文 内田 成
©AQUA DESIGN AMANO



DOOA is designed to help you enjoy the beauty of nature more freely. Minimal and easy to set up, it is a platform allows everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.



息をのむようなアヌビアスの一大群落。流木や石に活着したアヌビアスの密生は、力強い生命力を感じさせる。
撮影地：西アフリカ 撮影：天野 尚

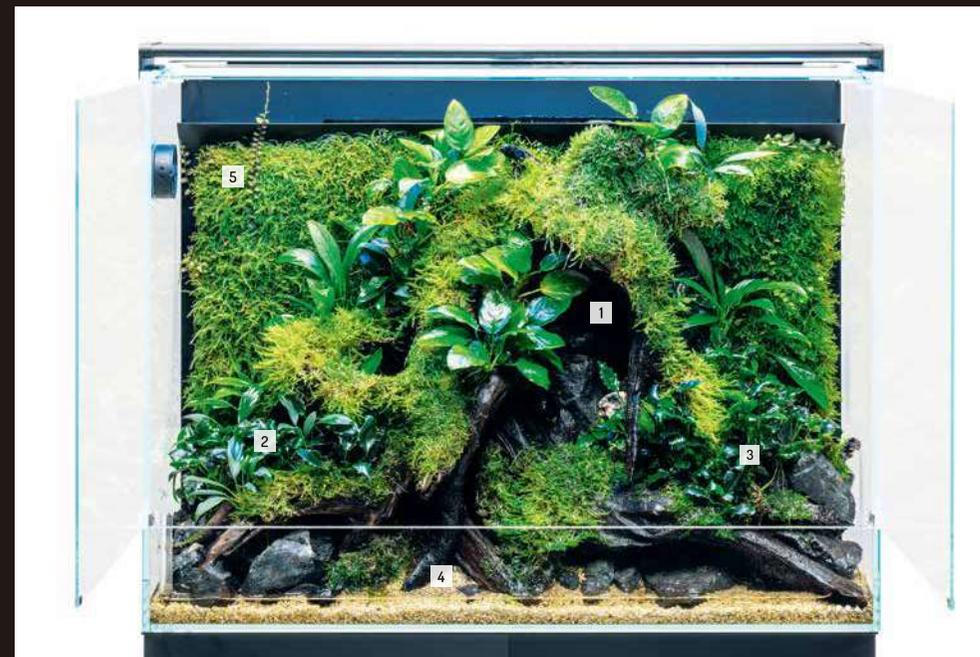
細流のほとりの 季節変化と 成り立ちを意識

川沿いの石や流木に群生するアヌビアスはとても魅力的で、それらが自生する景観にはとても心を惹きつけられる。最初一株は偶然流れ着いた場所で根を下ろし活着することに成功し、その後さまざまな環境変化に耐えながら株を殖やし生長していく。そのような時間の経過の上で成り立っている景観を想像しながら制作を進めた。育成に関しては空中湿度が重要となり、ミストや風を適切にコントロールすることで本来の美しい姿を觀賞することができる。システムバルダだからこそ可能な湿潤な自生地を再現したレイアウトとなっている。



流木でできた洞穴

水中に沈む時期は魚の、水上であれば爬虫類や両生類の絶好の隠れ家になっていたことだろうと想像しながら制作。生き物を常に意識しながらレイアウトを制作することは必要不可欠であり、自然との共生を感じる水槽へと昇華させることができる。



水位変動を想像し空間を縦に広くとらえる

システムバルダ特有の広い面を一つのキャンバスとして捉えながら、素材を立てかけるように配置しそこをアヌビアスの安定的な着生景観として再現した。



発達したクチクラ層

水上陸上に適応できる水草であるが、空気中への適応を果たした葉に現れる艶感は何とも美しい。バルダライトによりその美しさが際立っている。



水槽の中に生まれる多様性

波状の葉の形状が美しいアヌビアス・キリン。同じアヌビアス属でも形状の異なる葉をうまく配植することで作品としての奥深い自然感が生まれてくる。



トロピカルリバーサンド

白い化粧砂は川の景観を表している。川の水位が上下する環境を表現するため、水が3~5cmほどたまることも想定して流木や石を配置している。

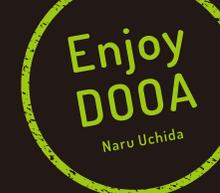


ソラナム・エボルプリフォルウム

壁面で垂直方向へはしながら伸びていく様子が、熱帯雨林で感じられる植物の躍動的表現を醸し出すことができる。



侘び草マット



DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature and bring beauty into your life.



次世代の パイオニアシステムを 使いこなす

スマート電源タップであるパワーコードS-70を使用すれば、自然豊かな環境再現が可能となります。ミストフローとサーキュレーションファン40の作動時間を調整することで、適切な育成環境をつくり出し、植物本来の美しさを引き出しましょう。水槽内の環境は刻々と変化するため、よく観察し人の目で見極めることも肝心です。

スマートフォンアプリで理想的な環境を整えよう。

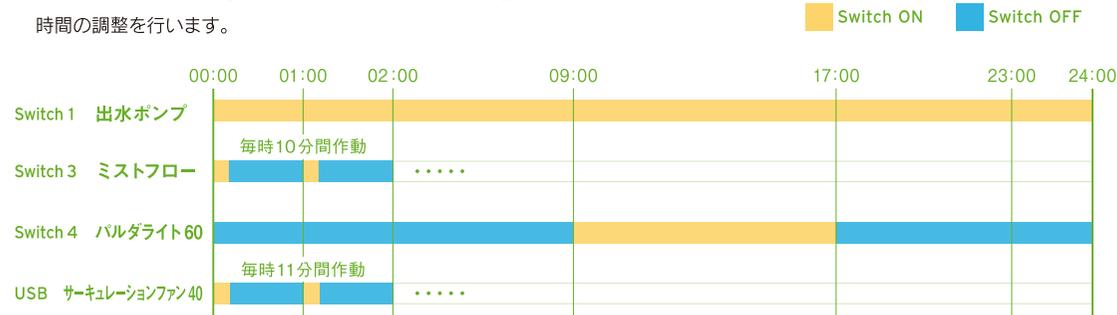


パワーコードS-70



24h 一般的な管理タイムライン

最も一般的なタイムラインの一例。これを基準に植物の種類によって、ミストフローやサーキュレーションファン40の作動時間の調整を行います。



24h アヌビアスに適した管理タイムライン

アヌビアスを美しく育てるためのタイムラインのポイントは高い空中湿度の維持です。そのためミストフローの作動時間を長くとっています。またサーキュレーションファン40をミストフローが止まった後も、さらに5分間作動させ、水槽内の湿度

を下げています。それはガラス面の結露防止だけでなく、アヌビアスがムレにより溶けるのを防ぐ狙いもあります。このタイムラインの場合、水槽底面に水が溜まるのが早いので、排水のタイミングが早くなるので注意しましょう。



一步踏み込んだ メンテナンステクニク

日々の注水作業も楽しむ

ミストフロータンクに直接給水すると出水スリットから排水される限度を超え、カスケード部から水が落ち水槽内に溜まってしまうことがある。そのため、ミストフローボックス内の静音スポンジに水があたるよう水差しなどで給水を行う。



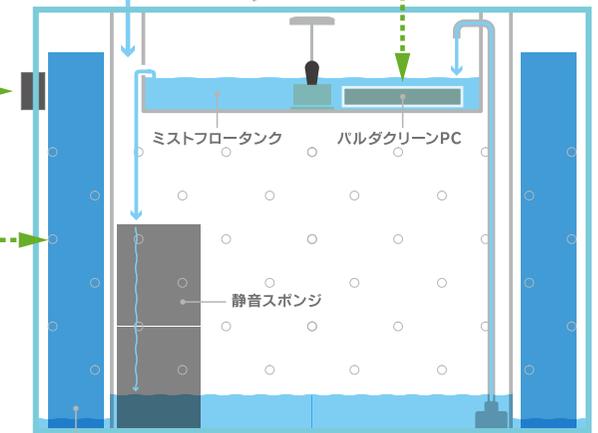
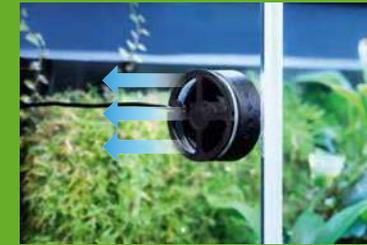
バルダクリーンPCで水垢を防ぐ
水槽壁面のカルシウム汚れ防止のため、バルダクリーンPCを使用する。ミストフロータンク右側に投入することで流水にあたることになり、全硬度を効率的に下げることができる。定期的な交換も専用ステンレスメッシュフタを外すだけで容易に行うことができる。



バルダクリーンPC

風通しの重要性

ここではサーキュレーションファン40を外へ排気するように設置することで、湿度を緩やかに降下させ適度な湿度を保つ。風通しを良くすることで過度なムレを防ぎ最適な環境を再現している。



高吸水スポンジ

ミストフローボックス 正面図

定期的な洗浄がオススメ

高吸水スポンジは使用にともない汚れや臭いが気になることがある。定期的にスーパージを5Lの水にキャップ1杯(8mL)投入し、もみ洗いを行う。※洗浄作業を行う際は手袋を着用。



スーパージ

持ち味を活かし使いこなす

テラテープの巻き数で根元の太さを変え、流木や石の隙間にフィットさせる。素材の特性により手で切ることができ、また自着性があるため糸などで止める必要がなく使いやすい。



テラテープ

Enjoy
DOOA
SYSTEM PALUDA

DOOA is a leading brand, built for indoor aquatic plants more freely, minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature and bring beauty into your life.

NATURE IN THE GLASS

Naru Uchida

降水量によって 移り変わる 川辺の生態系をイメージ

【雨季の細流】水位変動が大きい地域に適応して育つアヌビアス。先述のパルダリウムで表現した時間経過やたくましさを、この水景では水面下にフィールドを移して描写している。構図は典型的な凸型とし、限られた空間でより多くの植物を用いるために水槽に対してやや大きめの雲山石を使用した。これら2つのレイアウトは、水中と水上を逆に設定したとしても成り立つように構図や配植を考えて制作を進めた。

DATA

撮影日	2021年2月17日 (ADA)
制作	内田 成 (レイアウト制作・文)
水槽	キューブガーデン W60×D30×H36 (cm)
照明	アクアスカイRGB×1基 1日9時間点灯
ろ過	スーパージェットフィルターES-600 (ハイオリオG)
素材	雲山石、プランチウッド
底床	トロピカルリバーサンド、アクアソイル-アマゾン Ver.2、パワーサンド・アドバンス、バクター100、クリアスーパ、トルマリンBC
CO ₂	バレングラスTYPE-3、CO ₂ ガラスカウンターで1秒に2滴 (タワー使用)
AIR	リリイバイブP-2によるエアレーション 夜間消灯時15時間
添加剤	グリーンブライティ・ニュートラルK、 グリーンブライティ・ミネラル
換水	1週間に1度 1/3
水質	水温25℃ pH:6.4 TH:50mg/L
水草	アヌビアス・ナナ プチ <i>Anubias barteri</i> var. nana "Petite" アヌビアス・ナナ ゴールデン <i>Anubias barteri</i> var. nana golden アヌビアス・グラブラ <i>Anubias barteri</i> var. glabra ボルビティス・ヒュティロツティ <i>Bolbitis heudelotii</i> リシア <i>Riccia fluitans</i> ワイローモス <i>Taxiphyllum barbieri</i> ウォーターローン <i>Utricularia graminifolia</i> ルドウィジア・グランテュローサ <i>Ludwigia glandulosa</i> ルドウィジア・セネガレンシス <i>Ludwigia senegalensis</i> オレンジ・ミリオフィラム <i>Myriophyllum</i> sp. エキノドルス・アングスチフォリア <i>Echinodorus angustifolius</i> エレオカリス・ビビバラ <i>Eleocharis vivipara</i> アンゴラ・バルブ <i>Barbus fasciolatus</i> アフリカン・ランブアイ <i>Aplocheilichthys normani</i> サイアミーズ・フライングフォックス <i>Crossocheilus oblongus</i> オトシンクルス <i>Otocinclus</i> sp. ヤマトヌマエビ <i>Caridina multidentata</i>

©AQUA DESIGN AMANO

水に沈んだ世界を 素材や水草の特性を生かして 鮮やかに表現

1 ボルビティスと アマビアスの配置工夫

アマビアスに対して同郷であるボルビティス・ヒュティロツティを使用。ともに陰生水草であるが、ボルビティスのほうが光を必要とするため意図的に水槽上方に配植。ボルビティスの葉によって下部の光を適度に遮り、アマビアスが好む光量に上手く調整している。高光量で発生しやすいスポット状の藻類も付きにくくなる。



ボルビティス・ヒュティロツティ

2 群生美

アマビアスは群落を意識して数をまとめて配植することで本来の自然景観を演出することができる。またウイローモスで根元を隠すことで、水景により溶け込み、時間の経過を感じられるようになる。



BIOみずくさの森 アヌビアス・ナナ プチ

3 ブランチウッドと雲山石



雲山石特有のポケットに小型のブランチウッドをはめ込み固定することで、構図的安定を図った。

ブランチウッド

4



エキノドルス・アングスチフォリアとエリオカリス・ビビパラ
水の揺らぎを視覚的に感じることのできる代表的なテープ状の水草である。雲山石の強い主張を上手く和らげる役割を持っている。

5



自生地にマッチした魚種選択
アフリカ原産のアンゴラ・ハルブを泳がせた。同郷の水草と魚の組み合わせは自然な調和を感じることができ、ここでは飼い込みが足りなかった。

意識した構図のイメージ

60cm水槽に対してやや大きめな雲山石を使用し、直立する立岩のようなイメージで構図を組んだ。そこを一つの岸壁の景観とし、力強く根を下ろし自生するアマビアスの自生域を再現した。構図は典型的な凸型にしており、中央からテープ状と有茎草が垣間見える様子は石をあしらった生け花のようにも見える。

表現力と メンテナンス力を 引き出すADAプロダクト

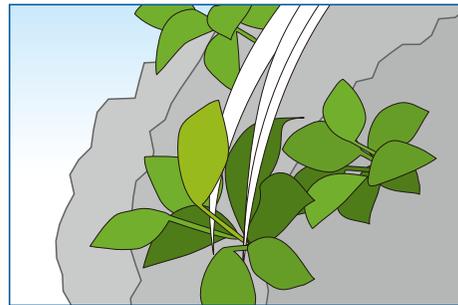
アマビースなどをふんだんに配植した水景では、水槽内に緩やかな生長リズムが生じる。そのため繁茂するまでの時間を計算した植栽や管理が求められるが、その一連の作業に役立つのが専門性の高いレイアウトツールたちである。水草たちのリズムに寄り添い作業しよう。



【アマビース・ナナ プチ】

流線型の有用性

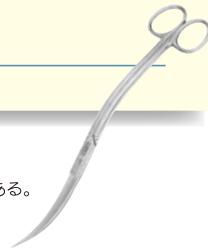
陰生水草で活着性のあるアマビースは、その性質を生かして流木や石などに活着させて多用すると、水景の中に迫力と時間の流れを感じさせる独特の雰囲気をもたらす。そんなアマビースだが、主な管理は古葉の摘み取りとなるため、カット作業ではプロシザース・ウェーブが重宝した。特徴的なその長く伸びた流線型の形状は、石や流木などの狭い隙間でも無理なく古葉のカットを行うことができる。また、アマビースの活着場所によってはプロシザースを裏返して持ち、刃先の角度を変えながらカット作業を行なった。カーブした形により刃がちょうど葉柄の根元にしっかりと届きカットすることができる。こうした的確なカットが、アマビースの株そのものを良好な状態で維持することにもつながった。



プロシザース・ウェーブを裏返して持つと、この場合狭い箇所でも刃先の狙いを定めやすく、難なく古葉の摘み取りができる。

プロシザース・ウェーブ

見た目さながら、一番の特徴はその流線型である。デザイン性も機能性も高い至極の一本。



【ボルビティス・ヒュデロツティ】

最適なツールの選択

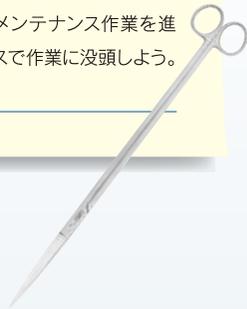
ボルビティスの特徴でもある透明感ある葉を美しく展開させるには、タイミングよく古葉をカットして新葉の展開を常に促すことが大切である。雲山石の窪みに活着したボルビティスの古葉カットには、柄の長いプロシザース Mが最適だった。全長305mmの細長いボディ形状により、雲山石の窪みの中まで刃先を容易に挿入でき、60cm水槽なら正面から確認しながらカット作業が行える。そのため切り残しがなく、正確な作業が的確に行うことができた。同じプロシザースでも水槽サイズと構図のバランスを考慮しながら、適切なサイズを選択することで、より円滑にメンテナンス作業を進められるようになる。切れ味の鋭いプロシザースで作業に没頭しよう。



プロシザース Mを使用すれば、雲山石のポケット状の穴の中でも十分に葉柄の根元まで刃が届き、的確なカットが可能。

プロシザース M

長いボディは刃先の細かな調節がしやすく、シダ類の古葉カットが行いやすい。



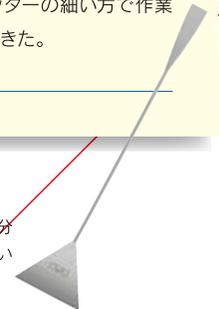
水景の印象を左右する前景

水槽前面の底床ラインは、水景の印象に大きな影響を与える。今回紹介した水景では、雲山石の手前に化粧砂を敷いているが、これは前景の空間を確保しながらも、明るい印象を与えメリハリを付けるためだ。その化粧砂のラインはできるだけ平らに整え、面としての印象を強め、水景に広がりを感じさせるようにしている。使用した雲山石がやや大きく狭小空間での砂をならす作業であったが、ここではサンドフラッターが非常に重宝した。

化粧砂の量が少ないこともあり、汚れが気になってきたら飼育水ごとホースで吸い出して洗浄を行った。洗浄した化粧砂を再び敷き直す際には、狭い場所だったためサンドフラッターの細い方で作業を行うと砂を寄せやすく、楽にならすことができた。

サンドフラッター

大小の先端部を使い分けることで、広い部分から込み入った狭い部分まで、底床をきれいにすることができる。



ライトスクリーン：ON



ライトスクリーン：OFF



シルエットを浮か出させる

ライトスクリーンは、撮影時の水景演出や観賞性の向上を目的とした製品であるが、普段のメンテナンスでも背景からの発光が役に立つことがある。その透過光によって、水草の姿があらわになり、藻類の付き方や古葉の有無を細かく確認することができるようになる。正面から見たときに、より陰影がはっきりするため、構図と水草のバランスなども確認しやすくなる。

先に紹介した水景で例にあげると、エレオカリス・ビビバラの場合は点灯させると、草体の先端に付く細かな胎生芽の付け根が光に照らされて浮かび上がり、摘み取り作業が非常にやりやすくなる。また、密度や高さなども確認しやすいため、以降のメンテナンス予定を組み立てやすく長期維持にもつながった。またエキノドルス・アングスチフォリアの場合は、透明感のある草体も相まって、葉の状態を一目で確認できるため、古葉を見落とすことなく処理ができるようになり作業も楽に行えるようになった。

ライトスクリーン 60

LEDライトによって背景から発光させることで、簡単に白い背景をつくることができる。美しい水景演出には欠かせない。



ネイチャーアクアリウムと パルダリウムで アヌビアスを楽しむ3つの要点

ネイチャーアクアリウムとパルダリウム、表現する世界は変わっても、自然から学ぶというプロセスは同じだ。2つの景観を通して感じられること、考えられることを、「構図」、「水草」、「動き」の3点から比較してみよう。

水流を意識する

河川の水中イメージなどからインスピレーションを受けることも多いネイチャーアクアリウムだが、水の流れを意識して構図を組むことは大切である。特に大きな石などを使用する場合には、水の流れに影響を与えるので注意したい。また管理面のことを考慮して、流木や石は動かないように、しっかりと固定することで長期維持がしやすくなる。



ダイナミックに組み立てられた雲山石が、切り立った崖を彷彿とさせる。

NATURE AQUARIUM

水中

PALUDARIUM

水上

縦方向を意識する

パルダリウムは鬱蒼とした熱帯ジャングルをイメージすることが多いが、縦方向の階層構造を意識するとよい。そのためシステムパルダの水槽は高さが45cmとやや高くなっている。ここでは流木を立てるように組み、石などで根元を固めるような構成を取った。アヌビアスを固定しやすい流木の窪みや形状も考慮して、安定した構図骨格を決めることも大切な。



大胆に配置された流木や石が、自然の力強さを感じさせる。

COMPOSITION

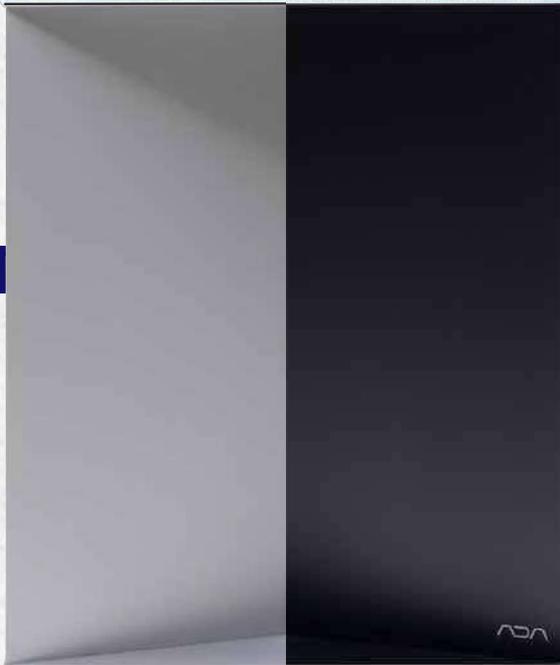
構図

たくましい水中葉の美しさ

一般的な水草のイメージは、ゆらゆらと水中を揺れる柔らかな印象だろうが、アヌビアスの水中葉は水上葉とほとんど変化がなく硬質な葉をゆっくりと展開させる。そのため長期維持がしやすいが、生長が遅いぶんだけ藻類が付着しやすいのが難点。水質管理には注意し、配置を決めたらできるだけ株が動かないようにしっかりと固定すると根が活着しやすい。



水質が安定すれば、美しい葉の展開が楽しめる。



濡れて輝く水上葉の美しさ

アヌビアスの葉が硬いのは、おそらく紫外線や乾燥といった厳しい自生地環境を生き抜くための進化だったのだろう。そうしたアヌビアスの葉の魅力を感じるためには、パルダリウムのほうが適しているかもしれない。霧で濡れ、パルダライト60の光を受けて青く輝いたアヌビアスの葉面の美しさは、アクアリウムでは楽しめない魅力を秘めている。



パルダライト60が照らす、艶やかな印象の美しい葉面。

MIZUKUSA

水草

ビオトープ的な魚種選択

ネイチャーアクアリウムの主役は魚であり、水景に動きを与えてくれるだけではなく、生命の輝きがより感じられるようになる。アヌビアスをメインにした水景であれば、同じ故郷であるアフリカ産の魚種を選択するとアフリカ河川の環境をイメージした雰囲気を楽しめる。普段目にすることができない水中シーンが、自然生態系の尊さをありありと感じさせてくれる。



主役の魚は水景の眺めに動きを与える役割もある。

霧によるジャングルリズム

パルダリウムでは、ミストフローによって漂う霧の流れが動的な視覚効果を与える。それは植物たちを十分に潤すだけでなく、時間の経過とともに景観を趣あるものに変えていくことにつながっていく。熱帯植物での構成が主となるパルダリウムは、視覚的な動きが少ない分、我々の心象風景に多くのことを語りかけてくるように思える。



ゆっくりと漂うミストが動きを与え、霧で煙るような雰囲気を醸し出す。

MOTION

動き

COMPOSITION

構図

MIZUKUSA

水草

MOTION

動き



アヌビアス・ナナゴールド

Anubias barteri var. nana 'Golden'

他にはない鮮やかなライムグリーンが目を引くアヌビアス・ナナの改良品種。ポイント的に植栽すると目を引く存在に。生長や育成はナナに準じる。



アヌビアス・コインリーフ

Anubias barteri var. nana 'Coin Leaf'

その名の通り硬貨のような丸い形が可愛らしい。根茎から放射状に葉を展開していく。長めの葉柄と幅広く心臓形の丸葉が相まってベリーキュート。



アヌビアス・コーヒーフォリア

Anubias barteri var. coffeifolia

深い緑と側脈の間から隆起した葉面が個性的。大きく育った株のワイルドさは、アヌビアス随一。赤褐色を帯びた新芽の姿からその名を冠されている。



アヌビアス・コンゲンシス

Anubias congensis

太い根茎とそこから展開する肉厚な葉が特徴。緻密に描かれたような側脈のラインが美しい。アヌビアス・アフゼリーと似ているが、こちらのほうが葉広の卵形。



アヌビアス・キリン

Anubias sp. 'Kirin'

葉縁に強く波打ったウェーブが魅力で、その適度な大きさからレイアウトで使いやすい新顔のアヌビアス。ダークグリーンに浮かぶ葉脈が妖艶チック。

THE CHARMS OF ANUBIAS ブレス オブ ジアフリカ! 魅惑のアヌビアス

アヌビアスは、西アフリカを中心とした熱帯雨林に分布し、その多くは鬱蒼としたジャングルの中の、流れのある水辺に流木や岩にしがみつこうようにして自生しています。そのため、西アフリカの河川を連想させる野趣あふれる美しい水草として、昔からアクアリストに愛され続けてきました。また、同じサトイモ科のクリプトコリネやラゲナンドラとは違い、水上でも水中でもほとんど姿を変えないことも特徴の一つです。ここでは定番種からニューカマー、珍種まで個性豊かなアヌビアスの一部を紹介します。



アヌビアス・パクシン

Anubias barteri var. nana 'Paxing'

シャープに尖った葉先が印象的。葉縁はやや波打ち葉の基部から葉先にかけて上方向に反り返る。水平方向に這うように展開する性質を考慮して植栽したい。



アヌビアス・ギガンティア

Anubias gigantea

大型の耳付きアヌビアス。自生地域によってかなり形状のバリエーションがあるようだ。大型種ならではの貴緑をオープンアクアリウムのような環境で堪能したい。



アヌビアス・グラキリス

Anubias gracilis

矛形から耳形の基部が特徴のないいわゆる耳付きのアヌビアス。耳付きの中では小型のほうで、水上栽培のほうがよく育つ。個性的な葉姿をテラリウムやバルダリウムで存分に楽しみたい。



アヌビアス・パンゴリーノ

Anubias barteri var. nana 'Pangorino'

流通するアヌビアスでは最小品種。狭卵形の葉を比較的密に展開する姿が特徴的で小型水槽に最適。ただ生長はとて遅いので藻類の付着には気をつけたい。



アヌビアス・グラブラ

Anubias barteri var. glabra

バルテリーの中でも分布域が広いとされ、さまざまな葉のバリエーションが知られている。こちらはノーマルタイプで、マットな質感の細葉は自然感の演出にピッタリ。



同じグラブラでも、波打つ葉のタイプ (Minima)、斑が出現するタイプ (Dragon Claw) などがある。

ネイチャーアクアリウムが生んだスター

スプーン状の葉をもつ可愛いグロッシスティグマ・エラチノイデスは、その育てやすさからプロからアマチュアまで愛される水草(前景草)の人気種です。オーストラリア南東部、タスマニア、ニュージーランドに分布し、河川や湖沼の浅瀬から湿地にかけて群落を形成しています。種小名は、「エラチネ(ミゾハコベ属)のような」という意味です。今となっては「ど」がつくほど定番なグロッシスティグマは、30年以上前、ネイチャーアクアリウムによってその存在が広く発信されました。しかしながら、当時は入手困難なうえ高額な超激レア水草でした。



ほふくして丸葉を密に広げた姿や他の水草にはないポテンシャルは、ネイチャーアクアリウムになくてはならない存在になった。
制作・撮影 天野 尚(1992年7月)

どんな場面でも役を演じる

グロッシスティグマは、BIOみずくさの森と侘び草がラインナップされています。小型水槽や入り組んだレイアウトなどには、少数ずつ植栽できるBIOみずくさの森が最適でしょう。開けたスペースや石組でソイルを盛った斜面では、侘び草は密な植栽をしながらも展開が早く、土留めの効果も期待できます。他の水草との相性もよく、たとえばエキノドルス・テネルスと混じり合って生まれる雑然さは、レイアウトにより自然な印象を与えます。また、リシアを点々と配植したりすると単調さがなくなるだけでなく、異なる大きさの酸素の気泡が見られ幻想的な水景に仕上がります。



多様な組み合わせにより、愛らしさも野生味も演出できる。グロッシスティグマを中心とした植栽プランは失敗も少ない。

トリミング後5日目の切片。しっかりと発根の様子がうかがえる。水上葉の生長も水中同様、強光下で顕著な匍匐を見せる。



回復力は有茎水草の中でもトップクラス

トリミングにとっても強いグロッシスティグマは、側芽の展開が早く、すぐに密度を増して一面を覆います。その潜在力はトリミング片にも隠されており、一片の葉や葉柄、茎などを水に浮かべておけば5日と経たずに発根が確認できます。これは、ネオグラス エアやガラスポットSHIZUKUで水に浸したアクアソイルに蒔いても同様に、構図を組み簡易的なバルダリウムとして二次的に楽しむこともできます。しかしながら、強い耐寒性やその丈夫さゆえ、やむを得ず処分する場合は適切な方法で行い、野外への流出は絶対にはいけません。



隆盛な生長とは裏腹に、繊細な花を咲かせる。花に焦点を当てたバルダリウムレイアウトなど、新たな可能性を感じる。

可憐な花も一見の価値あり

ハエドクソウ科(かつてはゴマノハグサ科に属していた)のグロッシスティグマの仲間は現在6種類あるとされ、そのすべてがオーストラリアやニュージーランドに分布しています。ただ一種、茶道具のさじのような細い葉のグロッシスティグマ・ディアンドルム(*G. diandrum*)は、ベトナムやインド、西アフリカにも点在しているようです。基本的には、どの種類も白花を一齐に咲かせますが、中には薄桃色に色付くものもあります。今回の主役のグロッシスティグマ・エラチノイデスも可愛い白花が咲きます。まるで小さな梅花に似た姿をしており、花弁からは絹糸のような軟毛がいくつも伸びています。

多様な生体製品を開発しているADAの生産開発部、通称「グリーンラボ」。このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。



ADA PLANTS GALLERY

#1 *Glossostigma elatinoides*

グロッシスティグマ

Text_Kota Iwahori

ADA NATURE AQUARIUM PRODUCTS STORY

CHAPTER

03

「POLLEN GLASS SERIES」

ADA NATURE AQUARIUMではネイチャーアクアリウムをつくるうえで必要なものが製品化されています。ここでは性能やデザイン性、オリジナリティが詰込まれた製品群の魅力について発信していきます。

Text Ryuji Ogawa

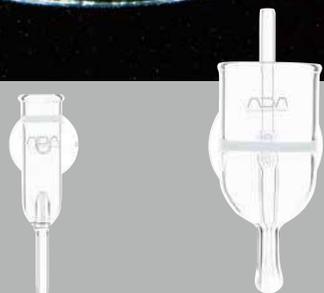


バレングラス・ビートル50φ：大型水槽に対応する設計。
※拡散面のサイズと対応する水槽のサイズ
30φは90cm水槽、40φは90～120cm水槽、50φは120～180cm水槽

極めて微細なCO₂の気泡は 花粉が漂うように水中へ溶け込む

昨今、水槽へのCO₂添加方式は多様化されてきているが、ここではバレングラスシリーズを紹介する。ネイチャーアクアリウムの美しさや自然感を引き立てるためには、その周辺器具はできるだけシンプルな設計が望ましい。その要件を満たすのがADAのガラス製品である。そのメイン製品であるバレングラスは熟練のガラス職人の手によって一つひとつにガラス独特のフォルムや美しさが形づくられ、最後にADAのロゴが焼き付けられる。バレングラスというネーミングは、花粉ほどの極めて微細な気泡を生み出すことのできる性能が由来だ。CO₂を添加しても気泡

が大きいものは溶け込む前に水面へ上昇し、空気中へ抜け出してしまふ。美しく水槽内で揺らめき漂う繊細な気泡でのCO₂添加は、ADAの実践から生まれた効果的かつ安全な方法とも言えるだろう。なお、バレングラス・ビートルは、その形状がカブトムシを思わせるゆえの名だ。2つのキスゴム取り付け部は眼、その間にあるガラス管が角のように見える構造となっている。



バレングラス・イーザー
CO₂のカウントと
拡散を1つで可能。

バレングラス・ラージ30φ
広い拡散面によって
より効率よくCO₂を添加。

DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

DOOA STYLE

#09

遠くリベリアの奥地、
マノ川支流のほとりを見つめる。

Text_Kota Iwahori



アヌビアス・グラキリスが勢よく展開するこのレイアウトは、湿度30～40%の部屋で管理しています。比較的乾燥にも強く、ネオグラス エアでの抽水から陸生栽培に向く種類ということがわかります。とはいえ、朝・昼・夕の霧吹きは必要で、葉水による保湿は艶のある大きな葉を展開させます。私の憧れの地の一つであるリベリア西部の密林地帯にはアヌビアス・グラキリスが分布しています。1日に3時間と日が差さない

ような川岸に、ボルビティスやコケなどと共に葉を広げているようです。熱心な水草愛好家にとって、ジャングルをかき分け、一度でも彼らの自生地を自らの目に焼き付けたいと憧れを抱くことは、至極真つ当なことではないでしょうか。しかしながら、現実にはそれほど容易なことではなく、多くの壁が立ちはだけています。それを打破できる者は、強く純粋な探求心の持ち主なのでしょう。この水景にはそんなロマンも含まれています。

DATA

- ネオグラス エア 20×20×8(cm)
- トロピカルリバーソイル
- 万天石

【植物】
アヌビアス・グラキリス、コッポゴケ
ツヤゴケ、ハイゴケ、シノブゴケ
制作 岩堀 康太

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

常日頃からネイチャーに身を置くライターが身近な自然をテーマに季節ごとのコラムを発信していきます。



「Fox Watching!」

第 9 回

文・写真／小川 龍司

冬 は雪景色という大変美しい世界を見せてくれます。この感覚は私たちが安心安全の生活を確認できているから感じられるのではないのでしょうか。なぜなら、そこは死に面し続ける世界だと考えられるからです。極寒の世界で常に命がけの生活を送る、そんな過酷な世界を生き抜く彼らを紹介いたします。今回の生き物はホンドリギツネです。何かしらの形で必ず出会っている生き物だと断言できるほど、キツネは身近な哺乳類です。稲荷神社で守護獣として祀られており、日本昔話やイソップ童話など著名な作品にも多数出演がありますよね。動物の中でも有名な種類ではないでしょうか。しかし、じっくりと観察をしたことがある方は少ないことと思います。哺乳類の観察は難しいので、まずは痕跡探しから始めてみましょう。生息地には必ず足跡やフンといったフィールドサインが残されています。そこから行動範囲を予測していき、いつか出会えるまで月日をかけて

アプローチしていきましょう。ですが、警戒心の強い彼らを明るいつまみで観察するのもまた難しいです。そこで、おすすめするのは夜間観察です。夜には開けたところでも見つけやすくなり、公園や駐車場など人の気配が近いところにも現れることがあります。視覚刺激の少ない赤いライトなどで捜索し、発見して無闇に近づかずそっと観察してみてください。さて、写真のキツネたちは冬を乗り越えた親子です。2頭の幼獣は母親と思われる1頭の周りで遊びまわり、枝などを啜っては追いかけて合おうといったほえましい様子を見せてくれました。成獣はこちらにも視線を配り、怪しい人間がカメラを向けている様子にらみつけてきます。こういった場面ではたいいていの場合、最後まで警戒を解くことなく去っていきます。名残惜しいのが常で、一度きりの出会いがとて大切に思えます。市街地近郊では観察が難しいですが、ホンドリギツネを探しにネイチャーへ出かけてみてはいかがでしょうか。

INFORMATION



IAPLC

THE INTERNATIONAL AQUATIC PLANTS LAYOUT CONTEST

世界水草レイアウトコンテスト サポートショップ

水草レイアウトを楽しむすべての アクアリストの情熱を応援します

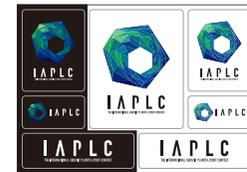
IAPLC2021の開催にあたり、コンテストへの参加を応援する「IAPLC サポートショップ」が全世界に展開しています。本年の応募開始も4月1日からです。サポートショップを通じて、一緒にIAPLCを楽しみましょう!

IAPLCについての詳しい情報はこちらから。 <http://jp.iaplc.com/>



**ロゴ
タペストリーが
目印!**

店頭にて
ステッカーを配布中



サイズ: W148×H105(mm)
※数には限りがあります。



※すべてIAPLCサポートショップ限定配布・販売となります。



今後の予定

作品応募期間 Application Period
2021.04.01 - **05.31**

結果発表 Result announcement
2021.08.28 SAT **ライブ配信!!**



STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2021 Printed in JAPAN

Publisher
天野しのぶ

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 悟司 / 市川 亮 / 高遠 将史 / 板橋 広夢

Editor 杉本 俊輔 / 岩堀 康夫 / 小川 龍司 / 鴨田 謙 / 沓澤 亮介 / 亀山 壽史郎
総監修・大岩 剛 / 写真監修・阿部 正敬

Published by
株式会社 アクアデザインアマン
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

MAY.2021 vol.307 / 2021年4月10日(土)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、
ADAホームページで公開しています。

DOOA, an inspiring brand, helps you enjoy aquatic plants more freely. Minimal and easy, and designed as a platform allowing everyone to nurture plants indoors. Feel closer to nature, and bring beauty into your life.

ジャングルプランツを自由楽しく SYSTEM PALUDA

システムパルダ

本格的なパルダリウムを、より手軽に、失敗なく楽しむことができるDOOA システムパルダ。ミストフローやサーキュレーションファン40などがセットに含まれているので、ジャングルプランツの育成に最適な環境をすぐに再現することができます。



DATA

システムパルダ 30
システムスタンド35(ブラック)
パルダライト 30
ジャングルソイル、ジャングルベース
パワーコード S-70

【植物】

陀び草マット クリスマスモス
陀び草マット ピーコックモス
陀び草マット ソナム・エホルプリフォリウム
ペゴニア・ビビンナティフィダ
ペゴニア・ルゾネンシス
ペペロミア・エマルギネラ
ラゲナンドラ・ケラレンシス
BIOみずくさの森 ヒドロコティレ・ミニ
BIOみずくさの森 コブラグラス
他

※画像は設置例です。照明器具、
水槽台は別途お求めください。

植物の環境流出を防ぎましょう。
環境影響への意識を持ちましょう。

GREEN
MANNERS

株式会社 アコアデザインアール
www.dooa.jp